

## ～はじめに～

川崎市議会欧州海外視察団 団長 嶋崎 嘉夫

海外視察に関しては、海外における行政事情その他市政に関する必要事項の調査を行うことにより、時代に即応した国際的な知識を涵養し、経験を蓄積することを通じて市政の課題解決に資するとともに、市民生活及び市政の発展に寄与することを目的として実施されてきましたが、今期においては平成27年7月8日開催の第3回団長会議において海外視察の決定がなされるとともに、視察時期を平成28年度とすることが確認されました。

その後、団長会議のもとに「川崎市議会議員海外視察検討プロジェクト」が設置され、5回に亘る審議において視察目的、視察先、視察内容、視察実施時期が検討された結果、実施時期を平成28年10月下旬から11月上旬までの間とし、2班編成でアジア及び欧州を視察地域とする旨の決定を踏まえ、私たち欧州視察団は、川崎市議会議員海外視察実施要領に基づく欧州地域視察参加者打合せ会議を合計6回開催する他、有識者を講師に招いた勉強会を2回実施し、広く視察予定地の政治、経済、社会情勢等に関する知識の涵養及び調査項目の収斂作業を進めて参りました。

上記手続きを経て、平成28年9月第3回市議会定例会本会議において議員派遣の承認がなされ、議会局による報道機関への情報提供の後、11月6日から11月13日の日程で欧州視察を実施いたしました。

視察先である欧州地域においては、ドイツ連邦共和国及びスウェーデン王国への視察を実施しましたが、ギリシャ経済危機に端を発するEU域内の経済問題や紛争や貧困に苦しむ中東、アフリカ諸国から欧州へ流れ込む難民問題、テロに直面する欧州の現状など視察都市が直面する諸課題を見聞するとともに、各調査事項を通じて川崎市との比較や政策の方向性など市民生活に及ぼす諸課題の改善に向けた事業の再考など有意義な視察となりました。

詳細は、視察項目別の報告書に記載いたしましたが、報告書の作成のみならず今後の議会活動等を通じて調査事項に関わる諸施策に対する議論を深めて参りたいと存じます。

終わりに、このたびの視察に際してご教授いただきました早稲田大学教育・総合科学学術院 近藤氏と川崎信用金庫参与 伊藤氏、及び在ドイツ日本国大使館 八木特命全権大使をはじめとする各関係各位に改めて感謝申し上げますとともに、訪問都市の繁栄を心より祈念いたします。